

京都市生物多様性プラン（2021-2030） に掲げる施策の取組状況等

1 令和5年度における施策の取組状況

2 令和6年度における施策の取組状況

目標①施策① 文化を支える生物資源の持続可能な利用〈達成項目①〉

●京の生きもの・文化協働再生プロジェクト認定制度（環境保全創造課）

(1) 団体

<概要>

京都らしさを支えてきた生きものの保全、再生及び持続可能な利用の取組を実施する団体を認定し、必要に応じて技術的な支援のための専門家を派遣

<令和5年度実績>

- ・認定件数：4件（累計36件、228者で取組）



清水長金属工業(株)
花壇スペースでのフタバアオイ等の保全及び啓発活動

(株)GSユアサ
敷地内緑地でのヒオウギ等の育成・展示

目標①施策① 文化を支える生物資源の持続可能な利用〈達成項目①〉

●京の生きもの・文化協働再生プロジェクト認定制度（環境保全創造課）

(2) 個人

<概要>

希少種（フタバアオイ、ヒオウギ等）の生息域外保全、文化を支える生物資源の持続可能な利用を促進

令和5年度から新たに、武田薬品工業(株)京都薬用植物園と連携し、市民との協働による生物多様性に配慮した庭づくりの取組を実施

<令和5年度実績>

- ・認定者数：102者（累計162者）



育成講習会



里帰り

目標①施策① 文化を支える生物資源の持続可能な利用 〈達成項目①〉

●魚道設置など生態系と調和した河川環境保全活動の推進 《推進プロジェクト【川】》 (農林企画課)

<概要>

市内河川において水生生物の生息環境の保全や市民理解の促進に取り組む民間団体による河川環境改善活動や魚道設置等の活動を支援することで、内水面漁業の活性化に繋げる

<令和5年度実績>

- ・活動組織数：2団体、活動面積：15.7ha（2団体の計）
- ・鴨川の4か所の堰において魚道を設置し、また、桂川においても堰を原因として滞留している魚類の汲み上げ放流を行う等、魚類の生息地を拡大させる取組を実施
- ・令和5年5月 イベントへの参加募集に係る情報発信



鴨川での魚道設置



桂川での汲み上げ放流

目標①施策① 文化を支える生物資源の持続可能な利用 〈達成項目①〉

●チマキザサ再生プロジェクト 《推進プロジェクト【森】》 (左京区役所地域力推進室、林業振興課、環境保全創造課)

<概要>

絶滅の危機に瀕した左京区北部山間地域のチマキザサが再生し、祇園祭や和菓子、京料理に継続して活用されることを目標に、チマキザサ再生環境整備、担い手確保及び技術継承支援、流通促進、普及啓発の活動を実施

<令和5年度実績（抜粋）>

- ・ササの葉の採取実績は8万枚で、そのうち4万枚を食品用として出荷
- ・令和5年6～7月 花背小中学校・高倉小学校にて学習会等を計4回実施
- ・令和5年10月 加工・厄除け粽づくり体験イベント（参加者：26名）
- ・令和5年12月～令和6年2月 支障木の伐採、苗移植、モニタリング



花背小中学校での学習会の様子



厄除け粽づくり体験の様子



苗の生育の様子

目標①施策② 自然の持つ機能を活かした緑と水辺の整備 〈達成項目②〉

●雨庭整備事業（みどり政策推進室）

<概要>

地上に降った雨水を、下水道に直接放流することなく一時的に貯留し、ゆっくり地中に浸透させる構造を持った植栽空間である雨庭を、京都の造園技術力を活かして整備を進め、訪れる人々により楽しんでもらえる緑を創出

<令和5年度実績>

- ・整備箇所：3か所（累計14か所）



東大路今出川交差点



四条大宮交差点



外環三条交差点

目標①施策② 自然の持つ機能を活かした緑と水辺の整備 〈達成項目②〉

●親しみやすい水辺環境の保全・創出（河川整備課）

<概要>

市民と水との関わりを取り戻すため、親しみやすく、良好な水辺環境の保全・創出に努める。
平成22年度から、高瀬川再生プロジェクトに着手し、高瀬川フォーラムでの対話を通じて、地域住民の意見を取り入れた整備を推進

<令和5年度実績>

- ・河川改修工事の実施



河川改修工事前後の様子 ※事業者名が記載されている箇所は隠しています

目標①施策② 自然の持つ機能を活かした緑と水辺の整備 〈達成項目②〉

●自然共生サイトへの認定促進（環境保全創造課）

<概要>

有志の企業・自治体・団体による「生物多様性のための30by30アライアンス」に参加し、きょうと生物多様性センター等を通じて、「自然共生サイト」への認定促進や情報発信、率先事例の創出等に取り組む。

<令和5年度実績>

- ・ 令和5年7月 「生物多様性のための30by30アライアンス」に参加
- ・ 令和5年10月 宝が池連続学習会第4回において話題提供
- ・ 令和6年2月 令和5年度緑の講演会において話題提供
生物多様性庁内連絡会議第1回自然共生サイトの認定に係るワーキンググループ会議



令和5年度前期認定
武田薬品工業(株) 京都薬用植物園内の樹木園



令和5年度後期認定
三井物産の森/清滝山林

目標①施策③ サステナブルツーリズムの推進〈達成項目③〉

●京都一周トレイル（観光MICE推進室）

<概要>

京都を取り囲む山々に整備された「京都一周トレイル※」を通して、利用者に里山の豊かな自然や歴史ある街なみなどを楽しんでもいただく。

※ 京都一周トレイル：全長約130km（東山～北山～西山：約 80km、京北 約50km。全5コース）

<令和5年度実績>

- ・京都を取り囲む山々に整備された「京都一周トレイル」を通して、利用者に豊かな自然や歴史ある街なみなどを楽しんでもいただいた。



ホームページ「京都観光Navi」 京都一周トレイル

目標①施策③ サステナブルツーリズムの推進〈達成項目③〉

●山村都市交流の森や京都一周トレイルなどを生かしたグリーンツーリズム （林業振興課）

<概要>

山村都市交流の森を拠点に、豊かな自然を生かしたイベントを実施

< 令和5年度実績 >

- ・イベントの開催：6回



山村都市交流の森イベント「八丁平自然観察会」



山村都市交流の森イベント「木育フェスティバル」



目標②施策① 重点保全地域における保全強化〈達成項目①〉

●天然記念物深泥池の保全・活用（文化財保護課）

<概要>

国指定天然記念物「深泥池生物群集」について、平成16年9月に本市が取りまとめた「天然記念物深泥池生物群集保全・活用のための基本方針」に基づき、水質モニタリング、外来生物（ブルーギル、ブラックバス等）除去、防鹿柵の一部設置、路面水流入の防止措置等、生態系保全を実施

<令和5年度実績>

- ・本市が令和4年度に行った意見具申に基づき、天然記念物指定範囲が拡大された
- ・水質のモニタリング調査
- ・希少種の保護
- ・外来生物（ブルーギル・ブラックバス・オオバナイトタヌキモ等）の除去



深泥池



オオバナイトタヌキモ除去作業

目標②施策① 重点保全地域における保全強化〈達成項目①〉

●小倉山再生プロジェクト（風致保全課）

<概要>

「京都市三山森林景観保全・再生ガイドライン」に基づき、平成25年度から10年間、小倉山において良好な森林景観を保全・再生するため、京都市や地域組織、地元社寺、企業などの様々な主体が連携し、それぞれの役割分担のもと展開する持続的な森林景観づくりを実施

本プロジェクトは令和4年度に終了したが、引き続き、良好な森林景観の保全・再生に向け、地域の方々と共に維持管理活動を進めている。

<令和5年度実績>

- ・維持管理活動：11回



小倉山における維持管理活動の様子

目標②施策① 重点保全地域における保全強化〈達成項目①〉

●大原野森林公園の保全管理 《推進プロジェクト【森】》（みどり政策推進室）

<概要>

都市公園法に基づき、大原野森林公園の維持管理を実施
維持管理に当たっては、地元活動団体の「大原野森林公園運営管理協会」に委託

<令和5年度実績>

- ・維持管理面積：133.98ha
- ・維持管理日数（園内巡視、保守）：233日
- ・令和6年2月 令和5年度緑の講演会において講演

⑤大原野森林公園の取組

- これまでの取組
- 里山維持管理
- 植林地維持管理



大原野森林公園における維持管理
（ポータルサイト掲載資料抜粋）



「緑の講演会」の様子

目標②施策② 里地里山の保全・回復〈達成項目②〉

●環境保全型農業（農林企画課）

<概要>

環境に配慮した農産物の生産を促進することで、生物多様性保全をはじめとした、多面的機能が発揮される持続可能な農業を推進

<令和5年度実績>

- ・取組面積：1,123a



環境にやさしい農業技術の実証
（化学肥料使用量の削減）



有機農業の取組（アイガモ農法）

目標②施策② 里地里山の保全・回復〈達成項目②〉

●森林総合整備事業（林業振興課）

<概要>

植林から間伐・保育に至る一貫した森林施業を計画的・組織的に実施し、森林の持つ公益的機能の維持増進や地域林業の振興を図る。

<令和5年度実績>

- ・ 間伐・保育等実施面積：208.22ha



間伐作業



植林作業

目標②施策③ 希少種の保全・回復〈達成項目③〉

●特別天然記念物オオサンショウウオ保護事業（文化財保護課）

<概要>

市内河川に生息する国の特別天然記念物であるオオサンショウウオ（在来種）とチュウゴクオオサンショウウオ（外来種）の交雑が進み、在来種の絶滅が危惧される。保全対策に資する情報を得るため、市内全域でオオサンショウウオ類の生息状況調査を実施。遺伝子鑑定により、交雑個体又は外来種と判定された個体は隔離

<令和5年度実績>

- ・鴨川水系、桂川水系の各所において、踏査捕獲調査を行い、在来種・外来種・交雑個体の生息状況を把握した。遺伝子鑑定で外来種又は交雑個体と確認された個体は河川からの隔離を行った。



オオサンショウウオ（在来種）

目標②施策③ 希少種の保全・回復〈達成項目③〉

●国内希少種の域外・域内保全の推進（動物園）

<概要>

国の天然記念物で国内希少野生動植物種のツシマヤマネコや京都府の絶滅寸前種であるイチモンジタナゴについて、飼育下繁殖を推進し、国内及び地域の野生動物の保全につながる取組を強化

<令和5年度実績>

- ・第12回「やまねこ博覧会」を開催
- ・守れ！イチモンジタナゴプロジェクト2023を開催



イチモンジタナゴプロジェクトの様子



やまねこ博覧会での様子



目標②施策③ 希少種の保全・回復〈達成項目③〉

●衛生環境研究所における地域に貢献する生物多様性保全事業（衛生環境研究所）

<概要>

武田薬品工業(株)京都薬用植物園の協力により設置した植栽については、府市協働により引き続き栽培・展示し、来場者が植物を実際に「見て」、「触れて」、生物多様性の保全について学習する場を提供している。

また、当施設では、上記の植栽において、キキョウとオケラの生息域外保全に取り組んでいることから、「京の生きもの・文化協働再生プロジェクト認定制度」の認定を受け、生物多様性に係る取組の更なる推進を図ることとしている。

<令和5年度実績>

- ・令和5年12月 京の生きもの・文化協働再生プロジェクト認定制度 第36号認定



生息域外保全しているキキョウ及びオケラ



パネル及び生薬の展示

目標②施策④ 外来生物対策〈達成項目④〉

●侵略的外来生物の防除の実施（環境保全創造課、地域自治推進室、上下水道局水道部施設課）

<概要>

特定外来生物をはじめとした侵略的外来生物（アルゼンチンアリ、アライグマ、オオバナミズキンバイ等）について、防除を実施

<令和5年度実績>

- ・アルゼンチンアリ：モニタリング 5回、液剤散布 1回
- ・アライグマ：捕獲頭数 65頭
- ・ヌートリア：捕獲頭数 0頭
- ・オオバナミズキンバイ：令和5年7月 駆除活動の後援、当日の参加
- ・オオハンゴンソウ：令和5年7月、10月 駆除活動の後援、情報発信



オオバナミズキンバイ駆除活動



オオハンゴンソウ駆除活動

目標②施策⑤ プラスチックごみへの対策〈達成項目⑤〉

●給水スポット等の設置（資源循環推進課）

<概要>

京都市施設等へ「給水スポット」として水道直結式の給水機を設置するとともに、地域のイベント等の会場にも水道直結式の給水機を設置し、ペットボトル等の使い捨てプラスチック製の飲料容器の削減を目指す。

<令和5年度実績>

- ・給水機設置数：累計156か所
- ・イベント用給水機設置件数：16件



イベント用給水機



給水機（市役所本庁舎）

目標②施策⑤ プラスチックごみへの対策〈達成項目⑤〉

●市民・事業者等による自主的な美化活動の推進（まち美化推進課）

<概要>

自主的な美化活動の定着及びまちの美化意識の高揚を図る美化パスポート事業を実施するとともに、自主的な清掃活動を行う市民・団体等にごみ袋の給付や清掃用具の貸与、回収ごみの収集等を支援することで、プラスチックごみの散乱を防止

<令和5年度実績>

- ・美化パスポート事業：23回実施（参加者：1,286名）
- ・まちの美化実践活動助成：1,694件（参加者：151,580名）



友・遊・美化パスポート事業の活動風景



一日美化パスポート事業の活動風景

目標②施策⑥ 地球温暖化に対する緩和策と適応策の推進〈達成項目⑥〉

●京都市地球温暖化対策計画＜2021-2030＞の推進（地球温暖化対策室）

<概要>

「2050年CO2排出量正味ゼロ」に向けて、2030年までに温室効果ガス排出量を2013年度比46%削減することを中間目標に掲げ、ライフスタイル・ビジネス・エネルギー・モビリティの各分野について、CO2が排出しないものへ転換していくことに加え、森林・農地などの吸収源対策などに取り組むとともに、気候変動による影響に対応していく適応策についても推進する。

<令和5年度実績>

- ・令和4年度温室効果ガス排出量：606.9万トン
（基準年度（2013年度）比22.6%削減）

ライフスタイル

- 環境学習プログラム
- 222エコ学区での地域活動



- 脱炭素ライフスタイル推進

使用済衣服の回収 & 循環プロジェクト等



ビジネス

- 大規模排出事業者：
排出削減計画の目標削減率を
約2倍に(2023～)
- 中規模事業者：
「エネルギー消費量等報告書制度」
を創設(2022～)

エネルギー

- 300m2以上の建築物再エネ設置義務
- 太陽光発電上乗せ設置促進補助
（重点対策加速化事業）
- 太陽光パネルの共同購入、PPA促進
- 再エネ需要の促進
- 住宅の再エネ地産地消・地域循環推進事業



モビリティ

次世代自動車等について

- 大規模排出事業者：
導入義務を強化(2023～)
（新車購入時2/3以上）
- 自動車販売事業者：
販売実績報告義務(2022～)
- 公民連携でのEV利用環境
の整備



目標②施策⑥ 地球温暖化に対する緩和策と適応策の推進〈達成項目⑥〉

●京都気候変動適応センター（地球温暖化対策室）

<概要>

適応策の推進に向けて、京都府、総合地球環境学研究所との連携のもと、令和3年7月に京都気候変動適応センターを設置し、気候変動影響に関する情報収集や分析等を行う

<令和5年度実績>

- ・ 市内の熱中症による救急搬送車のデータを気象・気候データを収集、分析することで、京都における熱中症の発生状況を把握し、将来予測を実施
- ・ 丹後地域の農業関係者を対象に実施した農作物（水稻）等への気候変動影響に関するアンケート及びヒアリング調査の結果を取りまとめ、FutureDesign手法によるワークショップを行い、50年後の気候変動下における京都の農業分野の将来ヴィジョンについて検討



京都気候変動適応センター
Kyoto Climate Change Adaptation Center

機能のイメージ

情報基盤機能（基本機能）

研究教育機能



コーディネート機能



成果の発信（センター通信等）

目標③施策① エシカル消費の推進〈達成項目①〉

●エシカル消費の普及促進（消費生活総合センター）

<概要>

人や社会・環境・地域に配慮した消費行動をすることにより、公正で持続可能な地域社会づくりを進めていこうとする「エシカル消費（倫理的消費）」の理念を、事業者等と連携して広く紹介・普及し、市民一人一人の主体的な実践につなげる。

<令和5年度実績（抜粋）>

- ・待鳳小学校6年生61名に対する出前講座の実施
- ・エシカル消費に関する動画(15秒×8本)を作成し、YouTube放映開始



出前講座



ホームページ上の動画ライブラリー

目標③施策① エシカル消費の推進〈達成項目①〉

●ホームページ「京・けんこうひろば」での総合的な情報発信（健康長寿企画課）

<概要>

行事食やおばんざい等の京の伝統に根差した料理レシピ等の紹介や、健康づくり、地産地消の推進、環境負荷の軽減、食文化の継承、食品の安全性など、ホームページで食に関する様々な情報発信を行い、家庭や地域における主体的な食育の推進を支援

食情報発信ポータルサイトとして運営してきた「京（きょう）・食ねっと」を、令和6年5月に「京（きょう）・けんこうひろば」としてリニューアルし、健康づくりに関する要素を一体的に発信

<令和5年度実績>

- ・ ページビュー数：304,250件
（京・食ねっとページビュー数）



ホームページ「京・けんこうひろば」

目標③施策② 自然とのふれあいや学習の機会の充実〈達成項目②③④〉

●さすてな京都での「自然との共生」の学習プログラム（南部クリーンセンター）

<概要>

南部クリーンセンターに併設された環境学習施設「さすてな京都」では、ビオトープに京都ゆかりの植物を育成するとともに、ビオトープを活用した学習プログラムや生物多様性に関連する学習プログラムを実施

<令和5年度実績>

- ・来館者数：54,410名
- ・子ども向け学習プログラム：161回（参加者：3,221名）



ビオトープ



イベントの様子（アジサイ関連プログラム）

目標③施策② 自然とのふれあいや学習の機会の充実〈達成項目②③④〉

●事業者等との連携による食育授業（学校指導課）

<概要>

事業者や団体と連携し、市立小学校において野菜の栽培等を通じて、子どもたちに食物を育てる大変さや喜びを体験させ、食に対する興味・関心を高めさせることを目的として、食育授業を実施
さらには、事業者の農場を活用した栽培・収穫体験も実施

<令和5年度実績>

- ・食育授業実施校：計28校（参加者：1,596名）
- ・農場体験：計2校（参加者：214名）



小学校出前板さん教室



京都青果合同(株)等との連携による食育授業

目標③施策② 自然とのふれあいや学習の機会の充実〈達成項目②③④〉

●自然観察指導のための教職員研修（総合教育センター 研修課）

<概要>

教職員が生物多様性等の教育課題に適切に対応できるよう、フィールドワークや自然観察指導等の内容を含んだ教職員研修を、教職員の職層や校務分掌、経験年数に応じて実施

<令和5年度実績>

- ・ 小学校理科専科教員や中学校教科担当教員を対象とした教職員研修を22回実施（内訳）
 - ・ 幼稚園、小学校、中学校、高校、総合支援学校：1回
 - ・ 小学校、中学校、高校、総合支援学校：1回
 - ・ 小学校、総合支援学校：15回
 - ・ 中学校、総合支援学校：5回



研修の様子

目標③施策② 自然とのふれあいや学習の機会の充実〈達成項目②③④〉

●青少年科学センターでの常設展示「京都府レッドデータブックの生物標本展」の公開 (青少年科学センター)

<概要>

「京都府レッドデータブックの生物標本～「絶滅した」・「絶滅の恐れのある」生きものたち～」と題した「京都府レッドデータブック2015」掲載の希少生物の標本や生体展示、パネル展示を公開
(令和5年12月より展示開始)

<令和5年度実績>

- ・年間入場者数：133,910名



展示の様子

目標③施策③ 生物多様性の学びの拠点の充実〈達成項目②③④〉

●いのちかがやく☆4園館連携事業（動物園、青少年科学センター、環境保全創造課）

<概要>

動物園、植物園、京都水族館及び青少年科学センターでは、かけがえのない自然環境の次世代への継承及び体験・啓発を目的として、「きょうと☆いのちかがやく博物館」として連携協定を締結し、一年を通して様々な交流連携事業を展開

<令和5年度実績>

- ・ 令和5年4月 動物園「野生動物学のすすめ」
- ・ 令和5年5月 連携連絡会議（京都市動物園）
- ・ 令和5年9月 植物園「いきものの広場」
- ・ 令和5年10月 植物園「きょうと☆いきものフェス」
- ・ 令和5年10月 「きょうと☆いのちかがやく博物館」特別編 in 高島屋
- ・ 令和6年2月 科学センター「サイエンスフェスティバル」



動物園「野生動物学のすすめ」



植物園「いきものの広場」



青少年科学センター
「サイエンスフェスティバル」

目標④施策① 生物多様性に配慮した企業活動の促進〈達成項目①〉

●きょうと生物多様性パートナーシップ協定制度（環境保全創造課）

<概要>

民間資金等を活用して、生物多様性の保全活動に取り組む団体を支援等するため、府市共同の制度として本制度を創設し、運用

<令和5年度実績>

- ・ 令和5年9月 本制度創設
- ・ 令和5年10月 （公財）日新電機グループ社会貢献基金と協定締結
- ・ 令和5年11月 協定に基づき琴引き浜の鳴り砂を守る会の活動を支援



協定式

目標④施策② 公共施設・事業における配慮〈達成項目①〉

●京エコロジーセンター屋上のビオトープ活用（地球温暖化対策室）

<概要>

京エコロジーセンターでは、屋上にあるビオトープを、生きものと人とのつながりを学ぶ場として、ボランティアと共に維持・管理

<令和5年度実績>

- ・屋上にあるビオトープを、生きものと人とのつながりを学ぶ場として、ボランティアと共に維持・管理



屋上ビオトープ



屋上ビオトープの様子

目標④施策② 公共施設・事業における配慮〈達成項目①〉

●「京都市公共建築物脱炭素仕様」に基づく緑化等の推進（公共建築企画課）

<概要>

公共建築物の整備においては、環境に配慮した設計仕様として「京都市公共建築物脱炭素仕様」を策定し、建築物の高断熱化や省エネ化、緑化等に取り組み生物多様性に寄与

<令和5年度実績>

- ・屋上緑化の整備（芸術大学（B地区・C地区）及び西京区総合庁舎）
- ・太陽光発電設備の導入（12施設、計114.3kW）



屋上緑化（西京区総合庁舎）



太陽光発電（開建高校）

目標④施策③ 生物多様性保全のネットワーク形成〈達成項目②〉

●京都市生物多様性プラン(2021-2030)の推進に係る活動交流会（環境保全創造課）

<概要>

生物多様性保全に係る事業者、活動団体等の皆様による取組を推進するとともに、市民の皆様の生物多様性保全に係る理解を深め、行動を促進することを目的に、OECMを主なテーマとして、事業者及び活動団体等の皆様による取組内容等を共有し、参加者同士が交流する活動交流会を開催

<令和5年度実績>

- ・ 令和5年10月 参加者65名（会場33名、オンライン32名）



講演会



意見交換

目標④施策③ 生物多様性保全のネットワーク形成〈達成項目②〉

●京の生物多様性担い手宣言制度（環境保全創造課）

<概要>

生物多様性保全の担い手を増やすとともに、生物多様性に関する理解の促進や、行動に移していただく機会とするため、様々な主体が取り組める行動例を示し、できる取組を宣言してもらうとともに、宣言内容に応じた情報発信を行い、「担い手を必要としている主体」と「行動したい人」とのマッチングを図る。

<令和5年度実績>

- ・ 宣言数：6,876件
- ・ 情報提供メールの配信回数：177回



目標④施策④ 情報の集約・発信〈達成項目③〉

●ポータルサイト「京・生きもののミュージアム」（環境保全創造課）

<概要>

生物多様性に関する知見を集約・発信する「バーチャルミュージアム機能」と、多様な活動事例や活動イベント等を集約・発信し、主体同士又は主体と活動のつながりを促す「プラットフォーム機能」を充実させたポータルサイトを令和4年4月1日公開し、当該ポータルサイトを、生物多様性に関する情報の収集・発信の場をはじめ、保全活動を行う事業者及び団体と活動に興味がある人をつなぐ場として運営

<令和5年度実績>

・訪問回数：2,932回／月



ポータルサイト「京・生きもののミュージアム」

目標④施策⑤ 知見の集積〈達成項目④〉

●京の生きものの生息調査（環境保全創造課）

<概要>

市民参加のもと、市内で見られる生きものの生息状況を把握するとともに、京都市の緑や水辺の豊かさ等の自然環境の現状を評価するために実施

令和5年10月から12月まで、きょうと生物多様性センターと協働で、ドングリをテーマに住民参加型の生物調査を実施

<令和5年度実績>

- ・【ツバメ、ハグロトンボ、セミ、ウグイス】

報告数：180件

- ・【ドングリ】

報告数：33件



ツバメ



ハグロトンボ



セミ



ウグイス



ドングリみわけ図鑑

目標①～④ きょうと生物多様性センター

<概要>

京都の伝統・文化や暮らしを支えてきた「京都の自然の恵み」を守り、次世代につないでいくため、令和5年4月1日に「きょうと生物多様性センター」を設置。

同センターでは、本部事務機能やコーディネートなどを担う本部オフィス、ネットワーク形成や情報発信などを行う交流オフィス及び生物多様性情報の集積・データベース化などを行う情報オフィスの3拠点を設け、「収集」「利活用」「継承」をテーマに、効果的かつ持続可能な生物多様性保全の取組を推進

<令和5年度実績>

- ・ 令和5年4月 府市協働で本センターを設置
- ・ 令和5年7月 設立記念シンポジウムの開催（参加者：540名）



設立記念シンポジウム 講演



昆虫標本等の展示

目標①～④ きょうと生物多様性センター

<令和5年度実績（続き）>

- ・ 令和5年10月 きょうと☆いきものフェス！2023の開催（参加者：5,000名）
- ・ 令和5年12月 シンポジウム「京都の自然はオモシロイ！」の開催（参加者：229名）
- ・ 生物多様性に係る理解促進や担い手育成、地域や企業の保全活動の支援等の実施（コーディネート等：85回）

《交流オフィス》

- ・ 生物多様性に関する相談受付
- ・ 市民活動団体の取組紹介・資料の展示
- ・ 展示物の作成・展示
- ・ 寄贈書籍等の整理・公開
- ・ SNSを通じた交流オフィスの情報発信



きょうと☆いきものフェス!2023 ブース展示



交流オフィス パネル展示



交流オフィス 書籍閲覧

目標①～④ 事業者等との連携

●武田薬品工業(株)京都薬用植物園

<概要>

令和3年度に締結した「生物多様性保全に関する協定」に基づき、同園を活用した取組の更なる展開を目指し、京都に自生する希少な植物の保全や自然観察会の実施など、連携した取組の実施

<令和5年度実績（抜粋）>

- ・令和5年7月 青少年科学センターにおいて、未来のサイエンティスト養成事業を実施
- ・「雲ヶ畑・足谷 人と自然の会」と連携し、同植物園内に保全ゾーンを整備するとともに、同団体の活動紹介を実施



未来のサイエンティスト養成事業



「雲ヶ畑・足谷 人と自然の会」活動紹介

目標①～④ 事業者等との連携

●阪急電鉄(株)及び京都生活協同組合

<概要>

京都市の生物多様性保全に係る取組を強化し、持続的な推進を図るため、様々な事業者・団体との連携を進めている。

<令和5年度実績>

①阪急電鉄(株)：令和5年7月、8月（計4回実施）

「洛西高架下こども大学～らくさい生き物ラボ～」を開催(参加者：合計74名)

②京都生活協同組合：令和5年5月

組合員向けイベント(いきものの学校)で講演(一般参加者：31名、うち子ども16名)



洛西高架下こども大学～らくさい生き物ラボ～



いきものの学校 京北編

目標①～④ 推進プロジェクト

●恵み豊かな森づくりプロジェクト①チマキザサの再生

<概要>

チマキザサ再生委員会と協働し、絶滅の危機に瀕する花脊・別所地域のチマキザサ再生を推進

<令和5年度実績>

- ・ササの葉の採取：8万枚、うち4万枚を食品用として出荷
- ・令和5年6～7月 花背小中学校・高倉小学校にて学習会等を計4回実施
- ・令和5年10月 加工・厄除け粽づくり体験イベント（参加者：26名）
- ・令和5年12月～令和6年2月 支障木の伐採、苗移植、モニタリング
- ・ポータルサイトにおける情報発信（<https://ikimono-museum.city.kyoto.lg.jp/chimakizasa/>）



モニタリングの様子



目標①～④ 推進プロジェクト

●恵み豊かな森づくりプロジェクト②東山の森づくり

<概要>

京都伝統文化の森推進協議会と協働し、東山等において多様な動植物が見られる生物多様性豊かな森づくりを推進

<令和5年度実績>

- ・ 令和5年11月 京都三山の森づくり(将軍塚の森づくり)を開催
- ・ 令和5年11月 自然観察会試行実施(第1回)の開催
- ・ 令和5年12月～令和6年3月 動物相の簡易調査の実施
- ・ ポータルサイトにおける情報発信 (<https://ikimono-museum.city.kyoto.lg.jp/higashiyama/>)



自然観察会試行実施の様子



目標①～④ 推進プロジェクト

●恵み豊かな森づくりプロジェクト③西山の自然環境保全

<概要>

小塩山及び大原野森林公園における保全活動団体と協働し、希少な動植物が生息する西山の自然環境保全を推進

<令和5年度実績>

- ・令和6年2月 令和5年度緑の講演会において講演（講演資料はポータルサイト上に掲載）
- ・ポータルサイトにおける情報発信（<https://ikimono-museum.city.kyoto.lg.jp/nishiyama/>）



ポータルサイトにおける情報発信



目標①～④ 推進プロジェクト

●水と緑のネットワーク形成プロジェクト①「宝が池の森」の保全・再生・利活用

<概要>

『宝が池の森』保全再生協議会と協働し、宝が池とその周辺の森の保全・再生・利活用に取り組む。

<令和5年度実績>

- ・ 令和5年9月 第1回協議会に出席
- ・ 令和5年10月 宝が池連続学習会第4回において話題提供（自然共生サイトについて）

●水と緑のネットワーク形成プロジェクト②天然アユなどの川の恵みを豊かにする活動推進

<概要>

京の川の恵みを活かす会等と協働し、アユ等が生息できる環境作りや持続可能な利用を推進

<令和5年度実績>

- ・ 令和5年6月 鴨川の生きものの生息調査に参加（京極小）



宝が池：宝が池連続学習会



天然アユ：鴨川の生きものの生息調査

目標①～④ 推進プロジェクト

●食と農業プロジェクト①環境保全型農業の推進

<概要>

環境に配慮した農産物の生産・消費を促進することで、生物多様性保全機能をはじめとした、多面的機能が発揮される持続可能な農業を推進

<令和5年度実績>

- ・イベントへの参加者募集に係る情報発信

●「京都らしさ」を支える生きものプロジェクト①「京都らしさ」を支える生物資源調査

<概要>

京都らしさ（伝統、文化、産業、景観等）を支える生物資源の現状等を把握し、保全・回復の取組を講じることで、生物資源の持続可能な利用を図る。

<令和5年度実績>

- ・ポータルサイトにおいて調査結果を掲載 (<https://ikimono-museum.city.kyoto.lg.jp/chousakekka/>)
- ・他推進プロジェクト等において調査結果を引用



調査内容及び結果

「京都らしさ」を支える生物資源のリスト化

京都市発行物等の文獻調査により作成した「京都らしさ」を支える生物資源のリストについて、以下のとおり調査を行い、リストの内容を充実させました。

・文献調査
発行物等や生物資源の存在の調査

・業界団体等へのヒアリング調査
団体へのアンケート調査
入手困難な貴重生物資源の調査等の把握

「京都らしさ」を支える生物資源のリストの充実

「京都らしさ」を支える生物資源リストはこちら

生物資源の詳細な状況調査

「京都らしさ」を支え、かつ、入手困難となっている生物資源のうち、特に重要と考えられる生物種の絞り込みを行い、マツ（アカマツ）、マツタケ、竹（マダケ、モウソウチク）、タケノコ、キキョウ、アユの6種を選定しました。これらの生物種について、文献調査、ヒアリング調査等により、持続可能性に関する課題の詳細な状況調査を行いました。

・特に重要と考えられる生物種の絞り込み
入手困難な生物資源に該当する種を選定

・詳細調査
持続可能性に関する課題の詳細な状況把握

生物種ごとに結果のまとめを作成

生物種ごとの調査結果

以下、写真をクリックしてください。



マツ（アカマツ）



マツタケ



竹（マダケ、モウソウチク）



タケノコ



キキョウ



アユ

<https://kyoto.lg.jp/kyo-contents/uploads/2023/09/（表）竹.pdf>

京都市生物多様性庁内連絡会議

<概要>

京都市生物多様性プランに関連する本市の施策や取組状況等について、情報を共有するとともに、相互に連携し、全庁により横断的にプラン推進を図る。

<令和5年度実績>

- ・ 令和5年12月 令和5年度第1回会議

(議題) ・ 京都市生物多様性プラン（2021-2030）に掲げる施策の取組状況及び評価状況
・ 自然共生サイトへの認定に向けて
・ 外来生物法の改正及び本市の対応

(報告) ・ きょうと生物多様性センターの取組状況



会議の様子

1 令和5年度における施策の取組状況

2 令和6年度における施策の取組状況

自然共生サイトの認定に向けた取組

<概要>

有志の企業・自治体・団体による「生物多様性のための30by30アライアンス」に参加し、きょうと生物多様性センター等を通じて、「自然共生サイト」への認定促進や情報発信、率先事例の創出等に取り組む。

<令和6年度実績（令和6年10月末時点）>

- ・ 令和6年9月 生物多様性庁内連絡会議令和6年度第1回自然共生サイトの認定に係るワーキンググループ会議
- ・ 令和6年10月 令和6年度前期4件認定（梅小路公園 朱雀の庭・いのちの森、花脊チマキザサ保護区、真宗本廟（東本願寺） 渉成園及び城南宮）



梅小路公園 朱雀の庭の様子



保護区内のチマキザサの生育状況

きょうと生物多様性パートナーシップ協定制度

<概要>

民間資金等を活用して、生物多様性の保全活動に取り組む団体を支援等するため、府市共同の制度として本制度を創設し、運用

<令和6年度実績（令和6年10月末時点）>

- ・ 令和6年5月 （株）京都環境保全公社と協定締結（第2号）

協定に基づき、左京区におけるチマキザサ再生に向けた防鹿柵内の生育環境整備等及び京丹波町における生物多様性等に関する保全活動を支援



協定式の様子

きょうと生物多様性センター

<概要>

京都の伝統・文化や暮らしを支えてきた「京都の自然の恵み」を守り、次世代につないでいくため、令和5年4月1日に設置。本部事務機能やコーディネート等を担う本部オフィス、ネットワーク形成や情報発信等を行う交流オフィス及び生物多様性情報の集積・データベース化等を行う情報オフィスの3拠点を設け、「収集」「利活用」「継承」をテーマに、効果的かつ持続可能な生物多様性保全の取組を推進

<令和6年度実績（令和6年10月末時点）>

- ・ 令和6年9月 第1回 企業向けの生物多様性セミナーの開催（参加者：215名）
【～企業における生物多様性保全の取組を後押し～】
- ・ 令和6年9月 きょうと☆いきものフェス！2024の開催（参加者：10,858名）
- ・ 令和6年10月 第2回 企業向けの生物多様性セミナーの開催（参加者：55名）
【～先進的に取り組む企業（株）島津製作所）を見学～】



第2回企業向けセミナーの様子



きょうと☆いきものフェス（自然観察会）の様子

京都市生物多様性庁内連絡会議

<概要>

京都市生物多様性プランに関連する本市の施策や取組状況等について、情報を共有するとともに、相互に連携し、全庁により横断的にプラン推進を図る。

<令和6年度実績（令和6年10月末時点）>

- ・ 令和6年8月 令和6年度第1回会議

（議題）

- ・ 京都市生物多様性プラン（2021-2030）の評価指標及び令和5年度進捗状況の評価について
- ・ 京都市生物多様性プラン（2021-2030）の中間見直しについて
- ・ 市有地における自然共生サイトへの申請内容等について
- ・ クビアカツヤカミキリの対応について

（報告）

- ・ 京のグリーン農業推進事業の取組について
- ・ 琵琶湖疏水の取水口におけるオオバナミズキンバイ等駆除



会議の様子